

## 原さんへのインタビューの内容（令和2年9月8日）

原さんは、地域運営協議会のメンバーで、北新宿4丁目の大東橋公園の近くに住んでいます。神田川の近くに自宅があります。水害にあった時の様子を伺いました。

Q1：いつ水害がおきましたか？

原さん：昭和60年7月14日の夕方です。

Q2：自宅や地域の様子はどのようでしたか？

原さん：始めは夕立のようで、あまり心配していなかったのですが、あれよあれよと神田川の水があふれてきました。「これは大変だ」ということで、急いで自宅に戻って（家の物が濡れないように）家の片づけをしました。

3丁目4丁目は、今までにないあふれかたで、地域の皆さんも大変な思いをされていました。

Q3：避難など、どのような対応をされましたか？

原さん：最初は大変だとは思いませんでした。なぜかというと、小さいころから住んでいますが、こんなことは今までになく、軽く考えていました。実際水があふれると、膝の上まであふれて大変びっくりしてしまいました。もっと増えた場合に備えて、家の片づけをしました。

最後に淀四小の皆さんへ

今、話したように災害はいつやってくるか分かりません。今お話したのは、神田川があふれた時のことですが、台風や風によって災害が起きることもあるので、皆さんも災害の勉強をして避難誘導ができるようにしてください。